

【取材のご案内】

「幼保連携型認定こども園」「児童発達支援事業」「訪問看護ステーション」全国初の3事業複合施設

「聖隷こども園こうのとり富丘」新築工事 定礎式 開催

～医療的ケアが必要なお子様が、健常児と同じ環境で育つことを実現～

日時：2019年12月19日（木） 10:30～12:00

場所：「聖隷こども園こうのとり富丘複合施設」建設地（静岡県磐田市富丘677-1）

社会福祉法人 聖隷福祉事業団（理事長 山本敏博、法人本部：浜松市中区）は、待機児童の解消に向け保育枠を拡充するため、幼保連携型認定こども園「聖隷こども園こうのとり富丘」複合施設を創設いたします。

この施設は、保育・教育・子育て支援を提供する「**幼保連携型認定こども園**」を柱に、お子様の成長発達を支援する「**児童発達支援事業**」と、在宅医療を担う「**訪問看護ステーション**」が併設されます。このような、医療的ケアが必要なお子様の受入れを可能とした3事業複合施設は全国初の施設です。

保育園待機児童問題は地域にとって大きな課題である一方、医療の進歩を背景とした「医療的ケアを必要とする児童」の増加に伴い、適切な支援を受ける事が困難である状況や、医療的ケアを理由に乳幼児期に必要な保育・教育を受ける事ができない子ども達がいることも大きな課題となっております。

本事業により、待機児童問題の解消を目指すことに加え、特別なケアが必要なお子様が、健常児と同じ環境の中で子どもらしく過ごし育つ事を実現するだけでなく、その保護者の方達が「働く」という事を選択できる地域社会が実現できると考えております。

この度、「聖隷こども園こうのとり富丘複合施設」新築工事について、12月19日（木）10:30より定礎式を執り行います。



定 礎 式 詳 細

■ 式次第 ■

前	奏		
招	詞	詩編 118 編 22節 ～ 23節	
讃	美 歌	312番 1～2節	
聖	書	ヘブライ人への手紙 11章 1節	
説	教		
祈	祷		
定	礎		
讃	美 歌	112番	
祝	辞	磐田市こども部 部長 山内 秋人	
挨	拶	聖隷福祉事業団 理事長 山本 敏博	
司	式	日本基督教団 中遠教会 牧師 兵藤 辰也	

■ 定礎 ■

- ①・社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事長 山本 敏博
・磐田市こども部 部長 山内 秋人
- ②・社会福祉法人 聖隷福祉事業団理事 福田 崇典
・株式会社公共設計 代表取締役 関戸 敏訓
- ③・社会福祉法人 聖隷福祉事業団理事 津幡 佳伸
・株式会社 イトー 代表取締役 伊藤 益夫

他

施設概要

当施設は「幼保連携型認定こども園」を柱に、お子様の成長発達を支援する「児童発達支援事業所」と、在宅医療を担う「訪問看護ステーション」を併設した複合施設です。そして、医療的ケアが必要なお子様の受入れを可能とし、特別なケアが必要なお子様が、健常児と同じ環境の中で子どもらしく過ごし育つ事を実現するだけでなく、その保護者の方達が「働く」という事を選択できる地域社会の実現を目指します。

幼保連携型認定こども園

※定員 129名（保育園枠 120名 幼稚園枠 9名）

■理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法、子ども・子育て支援法、児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の保育・教育を行います。

■事業について

教育標準時間認定(1号認定)および 保育認定(2号・3号認定) 子育て支援、延長保育、一時預かり保育、病後児保育、乳児保育

児童発達支援事業所

※定員 10名

■事業について

児童発達支援

■特徴

心身の発達に課題があるお子さんを対象に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う児童福祉法に基づく施設です。

訪問看護ステーション

■事業について

小児、高齢者、障がいのある方・・・病気・けが等により家庭で継続して療養されている方で、かかりつけの医師が訪問看護を必要と認めた方のご自宅に訪問し、健康管理、療養相談、医療処置等を行います。



園庭（完成予想図）



室内ネット遊具（完成予想図）

■所在地 ■施設規模等

：静岡県磐田市富丘677-1

：鉄骨造・2階建て

①幼保連携型認定こども園…定員 129名（保育園枠：120名、幼稚園枠：9名）

②児童発達支援事業所 …定員 10名（医療的ケア児の受入れを想定）

③訪問看護ステーション …40名規模の訪問を想定

■敷地面積

：4,701.04㎡

■延床面積

：2,514.87㎡

（こども園：1,632.72㎡、児童発達支援：271.07㎡、訪問看護：59.25㎡、共用分：268.39㎡）

■開設時期

：2020年4月

■施工

：株式会社 イトー

■事業効果

：①待機児童の解消

・待機率が高い0～2歳児の入園及び年度途中入園希望に応える

②認定こども園内で併設事業を実施する事での相乗効果

・医療的ケア児が、こども園内で通所サービスを利用できる

・こども同士の交流による育ちあいと相互理解

・訪問看護と連携した医療的ケア児のサポート

③医療的ケアが必要なお子様の保護者の方も、「働く」ことを選択できる地域社会の実現